

思いを胸に――

東日本大震災から1年となった3月11日、市漁業協同組合で久慈市東日本大震災復興祈念式を挙行。出席者はさまざまな思いを胸に、犠牲者を追悼し、復興へ一丸となって進み続けることを誓いました（関連記事2～3頁）

■久慈市東日本大震災復興祈念式

追悼と決意

P 2 - 3

■平成24年度 久慈市の動き

施政方針 ほか

P 4 - 11

●本号の内容 PICKUP ● JR 八戸線運転再開／消防団第9分団2部屯所が開所／高機能消防指令センター完成／久喜小がビデオコンテストで審査員特別賞 ほか

■戸呂町小・荷軽部小閉校、山根小併設に

学校にありがとう

P 22 - 27

あの「3月11日」から1年

久慈市東日本大震災復興祈念式を挙行

追悼と決意

3月11日、久慈市東日本大震災復興祈念式を挙行。悔しさや悲しさなど、さまざまな思いを胸に、犠牲になった方々を追悼し、復興に向けて全市民一丸となって突き進むことを決意しました。

手を携えて力の限り

まちを破壊し、船や家、命をも奪った東日本大震災。発生から1年を迎えた3月11日、市は、久慈市東日本大震災復興祈念式を市漁業協同組合で挙行しました。国や県のほか関係団体などから350人が出席。犠牲になった方々を追悼し、復興に向けて難局に立ち向かうことを決意しました。山内隆文市長は「多くの支援のもと、取り組みが着実に進んでいることに感謝。今後、も皆さまと手を携え、力の限り復旧・復興に取り組むことを誓います」と決意。八重櫻

感謝と期待を込めて

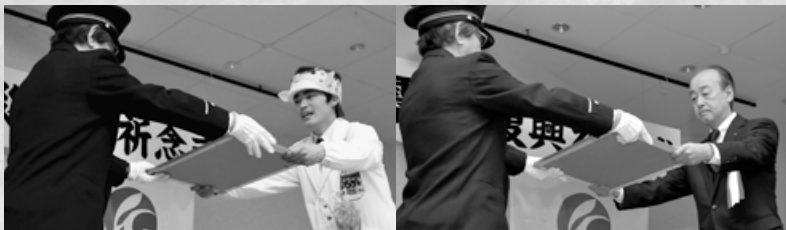
友夫市議会議長も「市とともに、市議会も全力で復旧・復興に取り組んでいきます」と言葉に力を込めました。国・県関係者のあいさつの後は、おおむね100万円以上の寄付金や義援金などで市を支援した43団体2個人に感謝状を贈呈。代表して宮城建設株式会社と、さかなクンが受領しました。

続いて、同日付けで自主防災会を立ち上げた長内町の4団体に認定証を交付。高まる地域の結束と防災力に、感謝と期待を込めました。

犠牲者への追悼と復興への決意。言葉を発せずに、さまざまな思いをかみしめる出席者



43団体2個人に感謝状を贈呈 ※敬称略、各50音順



【寄付金】▶秋田県鹿角市▶秋田県能代市▶(財)アリオン音楽財団▶荏原環境プラント(株)▶春日野部屋▶菊原光治▶J F E ミネラル(株)▶新日本婦人の会▶(財)全国市町村振興協会▶(社)全国信用金庫協会▶(社)大日本水産会▶東亜道路工業(株)▶東京書籍(株)▶日本国土開発(株)▶(株)はるやまチェーン▶北星鉱業(株)▶(株)細谷地▶北海道弟子屈町▶水ing(株)▶みちのく銀行グループ▶宮城建設(株)▶(株)宮商▶公益財団法人モラロジー研究所▶山口建設(株)▶リトアニア共和国クライペダ市

【義援金】▶アメリカ合衆国フランクリン市▶(株)イーシステム▶岩本歯科医院▶インディアナ日米協会▶(株)ウラタ▶小千谷市民義援金▶高校生ボランティアグループ・グリーンピース、SEED、中学生ボランティアグループ・ドリームズブロッコリー▶社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団▶(株)C V S ベイエリア▶ジョンソン郡コミュニティ財団▶税理士法人市川会計▶曹洞宗岩手県宗務所▶東京電波(株)▶(株)東山堂▶日軽建材工業労働組合▶日本共産党中央委員会▶日本自治体労働組合総連合▶(株)ミゾタ▶(株)ユニバース

【支援活動】▶さかなクン

長内町の4自主防災会に認定証



大震災で実証された地域の絆の大切さ。大きな被害を受けた長内町の4地区は、自らの地域を災害から守るため、自主防災会を立ち上げました。

これで市内の自主防災組織は10団体に。認定証の交付を受けたのは次の4団体です。

▶中長内自主防災会(稲村和雄会長・加入150世帯)▶下長内自主防災会(卯道勝志会長・加入168世帯)※同日付けで「災害時要援護者名簿の共有について個人情報保護に関する協定」も市と締結しました▶元木沢自主防災会(一沢明男会長・加入217世帯)▶上長内町内会自主防災会(小屋畑武彦会長・加入407世帯)

体験発表・支援活動

久慈地区災害ボランティア
久世一彦さん



活動で感じたのは地域の強い絆。若い世代も泥にまみれ、汗を流す姿に心を打たれました。助け合いと郷土愛、頼もしさを感じる活動でした。

体験発表・避難と対応

日本地下石油備蓄(株)久慈事業所
大藤友詳所長



迅速な避難と行動で社員も岩盤タンクも守ることができました。震災後の緊急対応も速やかに実施。これも地元と全国の支援のおかげです。

基調講演・教訓と今後

岩手大学工学部
堺茂樹教授



湾口防波堤など構造物は決して無駄ではありません。また、訓練などは継続することが重要です。心構えと訓練の積み重ねが命を守ります。

冥福祈り、復興誓う

体験発表後は、献花用の花を一人一人手にして市営魚市場に移動。肌を刺す厳しい寒さの中、遺族など多くの市民も集まりました。

会場では国主催の追悼式の様子も大型スクリーンで中継。大震災の地震発生時刻の14時46分、全員で海に向かって黙とうをささげ、犠牲になった方々の冥福を祈りました。

あれから一年。海を見つめ、言葉を発せずに悔しさや悲しさなどをかみしめる参列者。最後は犠牲者への思いを込めて献花台に花をささげ、全市民一丸となって復興に突き進むことを決意しました。

犠牲になった方々の冥福を祈って献花

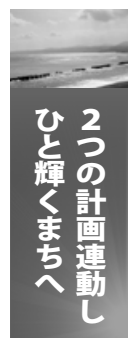


国の追悼式を大型スクリーンで中継



施政方針

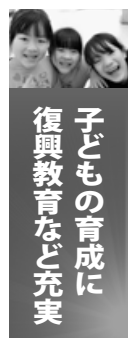
新視点で 夢と希望 と輝きを



2つの計画運動し
ひと輝くまちへ

■はじめに

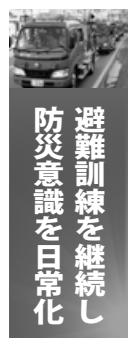
市復興計画と市総合計画後期基本計画が2年度目を迎える平成24年度。計画を運動させ、新たな視点で取り組むことで、新たなまちがつくられ、その先に「夢・希望・未来に向かつてひと輝くまち」が生まれてくると考えています。被災し、将来に不安を抱えながら頑張っている市民の心



子どもの育成に
復興教育など充実

【3】創造性豊かな人材を育てるまちづくり

子育て支援については、保育料の軽減を継続するなど、安心して産み育てることができる環境づくりを推進します。学校教育については、久慈小学校建設などで教育環境を整えるほか、震災を乗り越え、未来を創造していく子どもたちを育成するため、就学援助や復興教育の充実に努めます。また、平成28年度開催予定の2順目岩手国体に向けた市民意識の高揚に取り組みます。

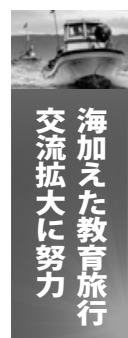


避難訓練を継続し
防災意識を日常化

【4】自然・地域を守るまちづくり

啓発と、生ごみ処理機器購入等への助成で、ごみ排出量削減と資源物回収を促進し、ごみ処理経費軽減に努めます。災害廃棄物の処理については、受け入れ先を県内外に求め、平成25年度までに全量を

に夢と希望が満ちあふれるよう、被災者の目線に立ち、2つの計画に掲げる目標実現に向けて鋭意努めていきます。



海加えた教育旅行
交流拡大に努力

【1】市民との積極的な協働を進めるまちづくり

市民や町内会などが行政と共通の課題や目標を持つて、協力して取り組む「協働」を積極的に推進します。地域コミュニティ振興事業

処理するように努めます。

新エネルギーの推進については、太陽光発電システムなどの導入を支援するほか、調査・研究に取り組み、「他地域にも貢献し得る電力供給の拠点都市」を目指します。災害対策については、津波防災施設の整備促進を要望するとともに、津波避難訓練などを継続し、防災意識の「日常化」に取り組みます。また避難路の整備や防災行政無線のデジタル化を推進します。



施設復旧を最優先
水産業復興に全力

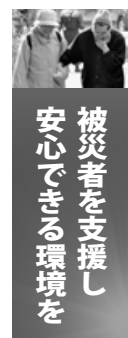
【5】地域資源を生かし、賑わいを創出するまちづくり

本年、「短角牛の里と都市を結ぶ集い」が30回目を迎えることから、記念事業で生産者と消費者の絆を深め、消費拡大と販路拡大に努めます。水産業の振興については、加工施設や漁港施設等の復旧を最優先し、本格的な復興に向けて全力を傾注します。農林水産業の総合的な振興策により、復興計画に掲げる「他地域にも貢献し得る食料

沿岸部に壊滅的な被害を及ぼした東日本大震災の発生から1年。復旧・復興をさらに推進していくための平成24年度がスタートしました。

山内隆文市長は、2月20日に開かれた市議会3月定例会本会議で平成24年度施政方針を述べ、「新たな視点で輝くまちを目指す」という、まちづくりの方針を示しました。今回は、その概要のほか、予算、主な事業、人事異動の内容をお知らせします。(11ページまで)

により、地域の活性化や協働を推進する活動を支援します。海の体験も開始した体験型教育旅行等については、これまで以上に学校等の誘致を図り、交流人口拡大に努めます。



被災者を支援し
安心できる環境を

【2】地域、みんなで支えあうまちづくり

全市民が安心して暮らせる福祉社会の実現のため、町内会などと連携し、災害時にお

ける高齢者などの安否確認や、日ごろの見守り活動の充実に努めます。

被災者の生活を支援するほか、災害時に介護が必要な高齢者や障がい者を受け入れる二次避難所、福祉避難所の設置に努め、安心して生活できる環境づくりに取り組みます。障がい福祉サービス等の充実に努め、関係機関と連携した支援体制の構築に取り組みながら、平成25年度を初年度とする「障がい者プラン」の策定に取り組みます。

供給基地」を目指します。

被災事業所には利子・保証料の補給を行うほか、既立地企業の早期復興を支援します。雇用対策については、国の緊急雇用創出事業などを活用して雇用機会を創出するほか、人材育成に努めます。

また「いわてデステイネーションキャンペーン」などに積極的に参画し、観光客誘致を図るほか、ジオサイトの選定など、地域資源を生かした観光振興に努めます。



被災住宅の再建と
住宅確保に鋭意

【6】安全、快適なまちづくり

復興道路に位置づけられた三陸沿岸道路の整備促進に関係団体と一体で取り組むほか、震災と台風15号で被害を受けた市道の早期復旧に努めます。また、避難路機能も併せ持つ都市計画道路・広美町海岸線の整備も推進します。

被災者の生活再建については、被災住宅の早期再建を利子補給などで支援するとともに、集団移転や公営住宅などによる住宅の確保に向けて鋭意取り組みます。情報化の推進については、アナログ放送終了後も難視聴地域の解消に取り組むほか、夢ネット事業で整備した光ファイバーケーブルを開放し、携帯電話通話エリアのさらなる拡大に努めます。



力強い口調で、まちづくりの方針を示す山内隆文市長



予算編成

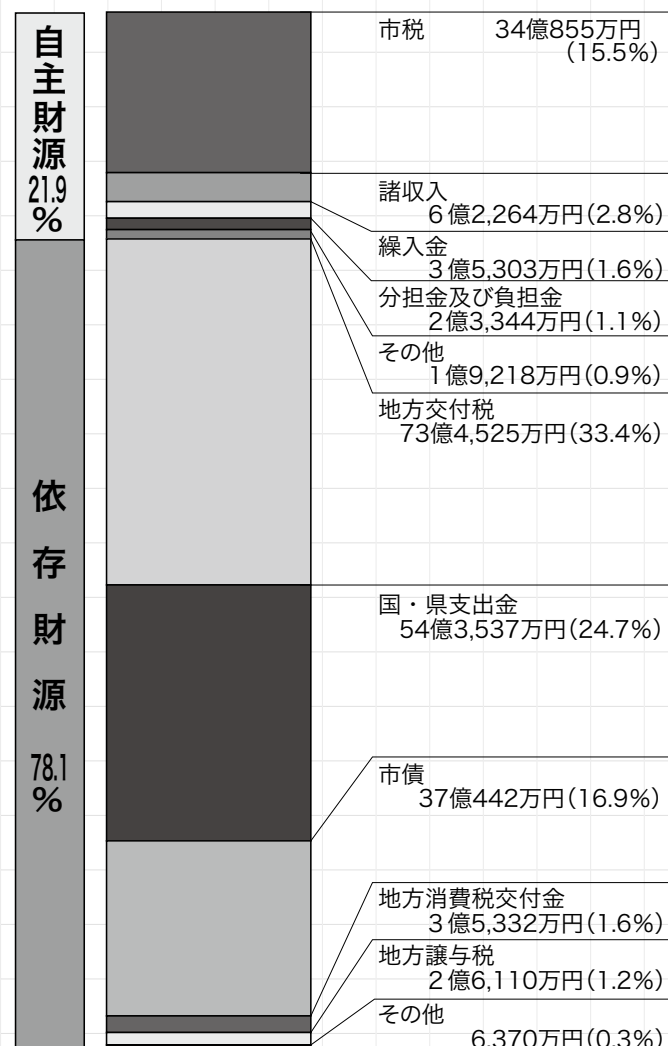
復興へ、過去最大 219 億円

平成 24 年度の一般会計当初予算は 219 億 7,300 万円（前年度比 26 億 9,540 万円増）。東日本大震災からの復旧・復興を進めるため、過去最大の予算を編成しました。久慈市復興計画に基づく事業を最優先としながら、当面の課題である教育環境の改善や雇用対策などにも重点配分。これまで以上に選択と集中を進め、限られた財源の効果的活用に努めました。このページでは、そのあらましをお知らせします。

※金額は 1 万円未満を四捨五入しています



一般会計 歳入 219 億 7,300 万円



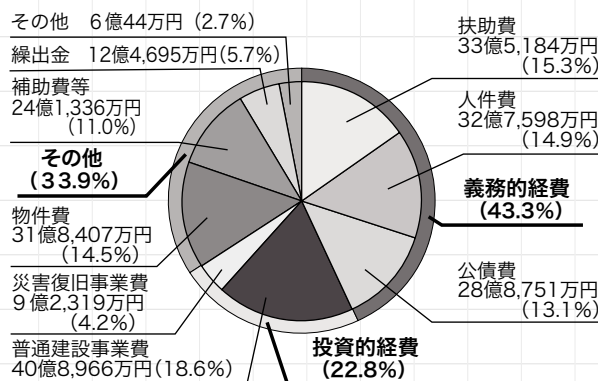
自主財源 21.9 %

依存財源 78.1 %

一般会計 歳出 219 億 7,300 万円



一般会計 歳出・性質別



特別会計

特別会計は、特定の事業を一般会計と区分したり、特定の歳入と歳出を区別して処理する会計です。

- 土地取得事業・・・2,234 万円
- 国民健康保険事業勘定・・・45 億 1,305 万円
- 国民健康保険直営診療施設勘定・・・3 億 1,345 万円
- 後期高齢者医療・・・2 億 5,401 万円
- 介護サービス事業・・・9,633 万円
- 魚市場事業・・・2,720 万円
- 漁業集落排水事業・・・3 億 5,281 万円
- 公共下水道事業・・・14 億 3,249 万円

8 会計合計 70 億 1,168 万円

企業会計 水道事業会計

公営企業会計は、事業で得られる収入で経費を賄う独立採算制を原則とした会計です。久慈市では、水道事業会計がこれにあたります。

区分	収入	支出
収益的収支	7 億 4,835 万円	8 億 4,609 万円
資本的収支	2 億 3,861 万円	4 億 2,774 万円

用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

【収入の関係】

▶**地方交付税**…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するため国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもとになっています

【支出の関係】

- ▶**民生費**…福祉や子育てを支援するためのお金
- ▶**教育費**…学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどを推進するためのお金
- ▶**公債費**…市の借金返済などに使うお金
- ▶**総務費**…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶**土木費**…道路や公園などを整備・補修するためのお金
- ▶**衛生費**…環境の保全や、健康を増進するためのお金
- ▶**農林水産業費**…農林水産業を振興するためのお金
- ▶**商工費**…商工業や観光を促進するためのお金
- ▶**消防費**…消防や火災予防など、災害対策のためのお金
- ▶**災害復旧費**…被災した施設を復旧するためのお金
- ▶**義務的経費**…人件費など支出することが義務づけられていて、簡単に削減できないお金
- ▶**投資的経費**…道路や学校などを整備するためのお金

久慈小改築で12億増 復興関係には44億円

厳しい状況ではありますが、震災からの復旧・復興をはじめ、教育環境の充実や雇用対策の取り組みを進めるため、経費削減を図りながら、主要事業には重点的に予算を配分しました。

歳出で最も多いのは、福祉や子育て支援などに使う民生費（24・7％）。教育費は久慈小学校改築工事の実施により、前年度から12億1889万円と大幅に増えています。最優先事項である復旧・復興関係では、漁港施設の復旧費など、久慈市復興計画に基づいて主要44事業、44億3030万円を盛り込みました。また本年度も国の緊急雇用創出事業を活用し、観光関係や環境整備などを実施する計50の事業を導入。事業の実施により雇用拡大を図ります。

8 特別会計（左）の予算総額は70億1168万円。前年度に比べて2億5228万円の増となっています。

震災により市税減収 大型事業で市債は増

平成24年度は東日本大震災の影響で、これまで以上に厳しい財政状況での予算編成になりました。

歳入を財源別に見ると、市税などの自主財源が48億984万円（前年度比5億5535万減）。そのうち、震災の影響で減収が見込まれる市税は、前年度より4億1581万円少ない34億855万円となっています。

これに対して、国から配分される地方交付税などの依存財源は171億6316万円（同32億5075万円増）で、全体の78・1％。これまで以上に国や県に頼らざるをえない状況となっています。

市は、財源を確保するため、財政調整基金から1億4610万円を繰り入れ。久慈小学校改築工事など大型事業を実施する関係で、市債（市の借金）は前年度より13億5912万円多い、37億442万円を計上しました。

主な事業 3

復興優先 重要課題 にも対応

平成 24 年度は、東日本大震災からの復旧・復興を最優先としながら、教育環境の改善や雇用対策など、震災前からの重要課題にも対応するため、各事業を盛り込みました。復旧・復興関係は被災施設の復旧や生活再建支援など主要 44 事業。緊急雇用創出事業は全 50 事業を進め、雇用拡大を図ります。このページでは、久慈市総合計画に基づいた施策と、復旧・復興関係、緊急雇用関係に分けて主な事業をお知らせします。

※各事業の金額は 1 万円未満を四捨五入しています



PICKUP 復旧・復興関係事業

主要 44 事業
復旧・復興を
全力で推進



- 三陸鉄道災害復旧事業費補助金
4 億 6,710 万円／三陸鉄道施設の復旧を補助
- 災害復旧経費
4 億 5,609 万円／被災施設の復旧工事を実施
- 漁港整備事業
3 億 9,216 万円／小袖、横沼漁港などを整備
- 生活再建住宅支援事業補助金
1 億 1,579 万円／被災住宅の新築に向けた借入資金に対する利子補給など
- 災害対策事業
3,656 万円／避難誘導灯の整備や、地域防災計画などの作成を進めます
- 中小企業災害復旧資金保証料等補助金
3,626 万円／災害で事業に支障が生じた中小企業に対して利子・保証料の補給を行います
- ウニ種苗確保対策緊急支援事業費
541 万円／ウニ種苗などの移植を目的とした確認調査・採取費用を補助します
- 住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金
500 万円／住宅用の設置経費を補助します
- 医療施設用発電機等購入助成事業
250 万円／医療施設が購入する発電機を助成

PICKUP 緊急雇用創出事業

全 50 事業
各種事業で
雇用を拡大



- 磯根漁場海底調査事業
1 億 448 万円／漁場の海底や磯資源の状況を調査
- 地域 PR キャラバン設置事業
4,598 万円／地域を PR する案内人を配置するほか市街地でイベントを開催
- 海とさかなの魅力全国発信事業
4,072 万円／まちなか水族館で、久慈の海を PR
- 久慈市観光情報発信事業
3,803 万円／FM ラジオで観光情報などを発信
- 道路機能維持補修事業
3,846 万円／道路周辺の除草や枝打ち作業など

環境・防災・交通など

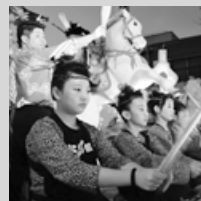
4 自然・
地域を守る
まちづくり



- 事業の区分…新規◎ 一部新規○ 継続●
- 家庭用生ごみ処理機購入補助金
135 万円／電動生ごみ処理機の購入を補助します
 - 火葬場施設整備事業
4 億 1,851 万円／火葬場を整備する久慈広域連合への負担金
 - 消防ポンプ自動車整備事業
5,361 万円／車両 3 台を整備
 - 路線バス運行事業
4,963 万円／市民バス運行。バス停留所の上屋も新設
 - 快適生活環境確保対策事業
249 万円／ごみ減量や清掃運動などを進めます

農林漁業・観光など

5 地域資源を生かし、
賑わいを創出する
まちづくり



- 事業の区分…新規◎ 一部新規○ 継続●
- ◎新規就農総合支援事業
450 万円／青年の就農に給付金
 - ◎まきストーブ等利用拡大支援事業
300 万円／まきストーブなどの購入や設置を補助します
 - いわて未来農業確立総合支援事業
6,831 万円／菌床シイタケやホウレンソウの施設整備等を補助
 - 市民の森整備事業
1,000 万円／散策道や案内看板を整備します
 - 観光交流センター魅力向上事業
238 万円／屋外イベントなどを開催します

建設・情報通信など

6 安全、
快適な
まちづくり



- 事業の区分…新規◎ 一部新規○ 継続●
- ◎除雪機械整備事業
2,530 万円／除雪ダンプ購入
 - 夢ネット事業
1 億 1,384 万円／大川目～戸呂町までケーブル芯線を増設
 - 道路新設改良事業
4 億 1,800 万円／上長内日吉町線の歩道設置や、宇部岩瀬張線などの工事を進めます
 - 浄化槽設置整備事業
2,838 万円／浄化槽設置を補助
 - 地上デジタル放送対策事業
629 万円／一般共聴施設のデジタル化などを支援します

協働・交流連携など

1 市民との積極的な
協働を進める
まちづくり



- 事業の区分…新規◎ 一部新規○ 継続●
- 地域コミュニティ振興事業
3,100 万円／町内会などの地域づくり活動を支援します
 - 市民協働道路維持補修事業
600 万円／地域が行う市道などの補修作業を支援します
 - 中高生海外派遣事業
523 万円／中高生を海外に派遣します
 - 市民相談事業
148 万円／無料法律相談など
 - 三圏域連携事業
100 万円／八戸市、二戸市との連携した活動を推進します

福祉・介護など

2 地域、みんな
支えあう
まちづくり



- 事業の区分…新規◎ 一部新規○ 継続●
- ◎福祉バス購入
1,027 万円／福祉バスを更新
 - 地域包括支援事業
4,675 万円／高齢者の介護予防事業などを実施します
 - 感染症予防事業
4,661 万円／インフルエンザなどの予防接種費用を市が負担
 - 母子保健事業
3,586 万円／妊婦健診費用などを市が負担します
 - ふれあいサロン事業
150 万円／地域で実施するふれあいサロンを支援します

子育て・教育など

3 創造性豊かな
人材を育てる
まちづくり

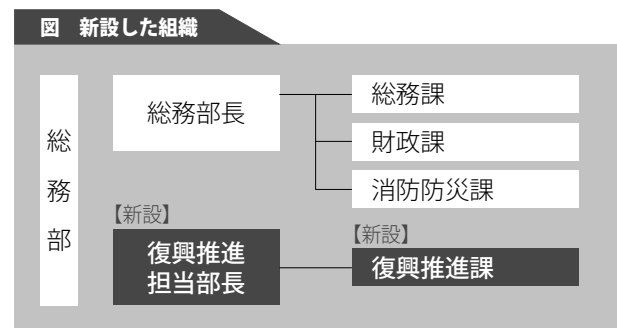


- 事業の区分…新規◎ 一部新規○ 継続●
- ◎就学指導委員会経費
303 万円／就学支援コーディネーターを配置します
 - 久慈小学校改築事業
16 億 5,825 万円／工事等実施
 - 乳幼児等医療費給付事業
1 億 3,181 万円／乳幼児などに医療費の一部を給付します
 - 文化会館自主事業
3,162 万円／優れた芸術・文化の鑑賞機会を提供します
 - 放課後児童健全育成事業
3,084 万円／学童保育所の運営を補助します

4

組織新設 新体制で 復興推進

※ () 内は旧所属名



長（保健推進課長兼保健センター所長） **大森正則**

總括主查級

48人

- ▼総務部付部長・復興推進担当
(総合政策部長) **大湊清信**※勤務延長▼総合政策部長 (山形総合支所所長) **中居正剛**▼総合政策部付部長・産業開発担当 (総合政策部産業開発課長) **晴山真澄**▼健康福祉部長兼福祉事務所所長 (久慈広域連合事務局長・派遣) **砂子勇**▼建設部長兼水道事業所長 (水道事業所次長) **小上一治**▼山形総合支所所長 (市民生活部税務課長) **澤口道夫**▼会計管理者兼会計課長 (久慈広域連合事

務局総務企画課長・派遣）小倉隆喜

課長級

19人

【総務部】▼財政課長（市民課長）浅水泰彦▼復興推進課長（都市計画課長）中森誠

【総合政策部】▼産業開発課長（岩手県商工労働観光部経営支援助課主任主査）土井尻英明

【市民生活部】▼市民課長（交流促進課長）蒲野喜美男▼国民健康保険山形診療所事務長（ふるさと振興課総括主査）上有谷満▼税務課長（議会事務局次

長）**中務秀雄**▼侍浜支所長兼侍浜地区農村セクター所長兼ふれあい交流センター所長併侍浜公民館長（国民健康保険山形診療所事務長）**賀美吉之**

【健康福祉部】▼子育て支援課長兼夏井保育園長（久慈広域連合事務局介護保険課長・派遣）**大橋卓**▼小久慈保育園長（子育て支援課長兼夏井保育園長）**高柳利久**▼久喜保育園長（子育て支援課総括主査）**浅水正幸**▼保健推進課長兼保健センター所長（侍浜支所長兼侍浜地区農村セクター所長兼ふれあい交流センター所長併侍浜公民館長）**大向**

雄二

【産業振興部】▼交流促進課長
（稅務課總括主査） 向川智之

【建設部】▼土木課長（下水道課長兼浄化セクター所長） 滝沢重幸▼都市計画課長（林業水産課總括主査） 田畑敏文▼下水道課長兼浄化セクター所長（土木課總括主査） 藤原和幸▼水道事業所次長（都市計画課總括主査） 外館要一

【教育委員會事務局】▼社会文化課長（久喜保育園長） 小田一▼圖書館長兼中央公民館長（社会文化課長） 久保司

【議會事務局】▼議會事務局次

長（保健推進課長兼保健センター所長） **大森正則**

総括主査級

48人

▼【総務部】▼総務課：外館範文
▼復興推進課：工藤仁
▼【総合政策部】▼政策推進課：
亀田義治▼まちづくり振興課：
水上恵一▼産業開発課：木地谷
淳

▼【市民生活部】▼市民課：板垣
泰子▼生活環境課兼消費生活セ
ンター：大青賢一▼生活環境課
：藤田新治▼税務課：谷崎勉
▼同：安部信二▼収納対策課：橋

本藤雄
【健康福祉部】 ▼子育て支援課
 …横道知亮 ▼子育て支援課・子
 育て支援センタ―兼夏井保育園
 …小田由美子 ▼小久慈保育園・
 下新井田章子 ▼久喜保育園・川
 代和子 ▼介護支援課・吉田義行
 ▼地域包括支援センタ―・遠川
 君子
【農林水産部】 ▼農政課…嵯峨
 敏弘 ▼同…三上浩 ▼林業水産課
 …鈴木博之
【産業振興部】 ▼商工観光課…

生活環境課併山根支所併山根生活改善センター…**田面巧**▼夏井公民館併農村環境改善センター…**村上恵利子**▼中央公民館兼図書館…**田端正治**▼社会体育課…**細工藤弘巳**▼教育振興室兼山形公民館兼山形図書館…**下畑啓**▼**【選挙管理委員会事務局】**▼同**外館清和**▼**【農業委員会事務局】**▼同…**櫛栢順一**▼**【議会事務局】**▼同…**五日市清樹**

…横道まどか▼同・若手県総務部税務課派遣：安堵城軍一▼侍浜支所併侍浜公民館：久松尚也

【健康福祉部】▼社会福祉課：

米内千織▼同：賀美裕子▼山形福祉室兼市民課兼保健推進課兼地域包括支援センター：古屋敷和子▼小久慈保育園：猪石直子

▼同：櫛桁美幸▼夏井保育園：

佐々木敦子▼荷軽部保育園：小田島智子▼来内保育園：工藤文子▼保健推進課：泉川努志▼同

成谷とし子▼同兼市民課兼山

烟智淑▼中央公民館：白山直樹
 ▼三船十段記念館：森將彦▼教
 育振興室兼山形公民館兼山形圖
 書館：間峠真澄
 ▼【農業委員會事務局】▼同併監
 查委員事務局：奧美香子

新採用

17人

（総務学事課） 三上由香

【派遣退職】▼岩手県商工労働
観光部企業立地推進課（産業開
発課） 大内田博樹

【併任解除】▼県北広域振興局
（社会福祉課） 家子圭一▼久慈広
域連合（収納対策課） 上平信雄

退職 19人

▼菊池修一（総合政策部付部
長・産業開発担当）▼野田口
茂（健康福祉部長兼福祉事務

子
【教育委員会事務局】▼総務学
事課：中村紀保▼同：大沢和明
▼学校指導課兼教育研究所：女
澤康子▼社会文化課：外里健治
▼同文化財室：中野敦夫▼侍浜
公民館併侍浜支所併侍浜地区農
村センター併ふれあい交流セン
ター：野中昭伸▼山根公民館併

▼同・岩手大学地域連携推進セ
ンター派遣：小野育成
【市民生活部】▼市民課：佐々
木和彦▼生活環境課：大内田泰
之▼同兼消費生活セクター：田
畑正統▼国民健康保険山形診療
所：谷地純子▼税務課：澤里神
奈▼収納対策課：大沢有紀
▼兼田康広▼同：浅水優太▼同

平▼都市計画課▼小向恵▼同▼
工藤零愛▼下水道課▼石原登納▼
【山形総合支所】▼産業建設課▼
永井さつき▼同▼柳久保▼幸▼
【水道事業所】▼同▼中塚健哉▼
【教育委員会事務局】▼総務学▼
事課▼大下さおり▼学校給食セ▼
ンター▼五十嵐育美▼社会文化▼
課▼木村岳人▼同文化財室▼高▼

派遣・併任解除
8人
 ▼【久慈広域連合派遣】▼部長級
 （財政課長）澤里充男▼同（会計管理者兼会計課長）久慈正俊
 ▼課長級（図書館長兼中央公民館長）小向秀美▼同（小久慈保育園長）長内寿一▼総括主査級

輕部保育園) ▼奥寺郁子(保健推進課兼市民課兼山根支所兼地城包括支援センター) ▼照井春樹(保健推進課兼市民課) ▼小向邦男(産業建設課) ▼分道千春(宇部小学校用務員) ▼大畑美和(久喜小学校用務員) ▼吉田英子(農業委員會事務局併監査委員事務局)



小・中学生にアドバイスを送る中村6段(左)

復興応援柔道教室

世界王者の指導受け、努力誓う

震災復興応援プロジェクト「旭化成柔道教室(旭化成建材㈱など主催)」は2月25日、三船十段記念館で開かれました。講師は同社社員で、元柔道世界王者の中村佳央6段。久慈管内のほか宮古市、大船渡市から小・中学生約160人が参加しました。

中村6段は小・中学生とふれあいながら、技を掛けるときの基本や反復して練習することの大切さを丁寧に指導。小・中学生は一つでも多く吸収しようと、真剣な表情で教室に臨んでいました。

中村6段は「周囲の人たちに感謝し、しっかりと練習を頑張ってください。次来たときに成長した姿を見せてほしいと思います」と講評。三船十段記念館の遠山恵生さんと小松沙菜さん(ともに小久慈小5年)は「詳しく教えてもらえて勉強になりました。明日からもっと頑張りたいです」と目を輝かせて、努力することを誓っていました。



上／世界を制した鋭い技も披露
下／一つでも多く吸収しようと集中

TOPICS 復旧・復興関係



祝福と歓迎にわく久慈駅に到着するうみねこ

JR八戸線

生活を支える八戸線 大勢で再開祝福

約100人が集合。久慈備前太鼓も祝福と歓迎の気持ちを込め、威勢よく太鼓を響かせました。



上／横断幕や小旗などで再開祝福
下／待望の運転再開に感謝を込めて、花束を贈った大久保智美さん(左)と大久保敬章運転士

東日本大震災で線路流出などの甚大な被害を受け、種市く久慈間が不通となっていたJR八戸線が3月17日、全区間の運転を再開しました。この日は新型列車「リゾーとうみねこ」が久慈市初お目見え。うみねこの到着に合わせ、市内各駅や線路沿いには子どもから高齢者まで大勢の人が集まり、小旗をふるなどして運転再開を祝福しました。

洋野町から通学する大久保智美さん(久慈東高1年)は「私たちの生活を支える大切な八戸線を再開いただきありがとうございます」と大久保敬章運転士に花束を贈呈。大久保運転士は「想像以上の祝福に感激。安全な運転はもちろん、災害に備える意識を高くし、乗客の命を守る八戸線にしたいです」と話していました。

TOPICS 復旧・復興関係



早期完成の願いを込めながら、一人一人くい打ち

三陸沿岸道路

測量スタート 復興のために全力で

復興道路として国が八戸市―仙台市間を整備する高規格道路「三陸沿岸道路」。2月19日、野田村玉川―久慈市新井田間の測量の目印となる中心くいが長内町地内に設置されました。設置式には国と県、本市、野田村から関係者約20人が出席。三陸国道事務所の工藤栄吉所長は「これからが本番。一日も早い復興のため全力で取り組みます」と決意を述べました。

その後、代表者13人がくい打ち。早期完成を願い木槌をふり下ろしました。中心くいの設置により測量がスタート。国はおおむね10年での完成を目指しています。

2月11日～3月10日受付分

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、救援支援物資や義援金、市への寄付金が全国各地から寄せられました。

2月11日～3月10日までに受け付けた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

熱い支援に感謝

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

【振込】

- 岩手銀行久慈中央支店
- 普通預金2057188
- 久慈市地震災害義援金

※入金前に下記まで連絡をお願いします
社会福祉課 ☎ 52-2119

【現金】

市役所で受け付け中

義援金

■県外

- 【埼玉】 ▼さいたまART S21 ▼サンエイ(株)
- 【千葉】 ▼関口英行
- 【東京】 ▼五味秀春 ▼横山茂
- 【神奈川】 ▼神林洋行

■市内

- 【盛岡】 ▼東日本大震災岩手県被災地域インフルエンザ対策マスクを寄贈する会

【その他】 ▼匿名1件

寄付金

■県内

- 【矢巾町】 ▼葦山定志
- 【市内】 ▼企業・団体 ▼(有)小田スチール工業 ▼久慈市役所職員一同 ▼久慈ライフセービングクラブ 赤十字奉仕団
- 【個人】 ▼片岡美智子 ▼田代好 ▼富沢秀明 ▼渡邊光男
- 【口座振替】 ▼(ユ)イシザカ
- 【個人】 ▼タテハタ・ユリノグチ・キョウイチ
- 【その他】 ▼匿名1件

■県外

- 【その他】 ▼匿名1件

募 集

被災者支援に活用します

義援金にご協力を

市では「東日本大震災久慈市地震災害義援金」を募集しています。この義援金は、市内の被災した方々を支援するために活用するものです。

どうか皆様のご協力をお願いいたします。

▼受付期間
平成25年3月31日まで
※1年間延長しました

▼受付方法
●口座振込：金融機関名や口座番号、口座名義は上段の枠「義援金」とおりです

●現金(窓口)：いずれかの窓口まで持参願います

①社会福祉課(市役所1階)
②山形総合支所
③各支所(宇部、侍浜、山根)

●現金書留：次の宛先までお送り願います
〒028-8030
久慈市川崎町1番1号
久慈市役所社会福祉課
☎ 52-2119



おひなさまを手にする久慈湊保育園の園児

元気願い手作りおひなさま

2月、札幌市在住の本市出身者・小林恵美さんを通じて約100組のおひなさまが市役所に届き、久慈湊保育園と久喜保育園に配られました。被災地を思い、子どもたちが明るく元気になるようにとの願いが込められたおひなさまは、小林

さんの友人・有沢恵子さんの手作り。久慈湊保育園では3月2日にひなまつりを開き、世帯に1組ずつ配りました。

中田恵子園長は「みんなの元気を願うおひなさまが北海道から届きました。大事にしてくださいね」と園児に呼び掛け。園児は大喜びで、かわいいおひなさまを持ち帰りました。



一つ一つ丁寧に作られたおひなさま→



スキーで大活躍！

吉田匠吾しょうごくん (久慈小5年) 東北制し全国6位

2月19日に北上市で開かれた第33回岩手県ジュニアアルペンスキー大会・キッズ2男子の部で、平庭高原ジュニアの吉田匠吾くん(久慈小5年)が見事優勝。大活躍はさらに続き、3月3日のナスターレースチャンピオンシップ東北決勝大会をも制しました。

スキー経験は1歳からという吉田くん。練習で高めた技術と、果敢なすべりが勝利につながりました。

3月21日～23日には全国小学生アルペンスキー大会にも初出場し、6位入賞。大活躍の吉田くんは「滑っているときが一番気持ちいい！今回すごい自信ができました。来年も全国で活躍できるように頑張ります！」と目を輝かせていました。



少年スポーツ奨励賞

久慈ミニバスを表彰

久慈ミニバスケットボールスポーツ少年団が、第35回岩手県ミニバスケットボール交歓大会(1月7～9日)男子の部で第3位に入賞。市教育委員会は3月21日、同団体に少年スポーツ奨励賞を贈りました。

MOVIE

KWN日本ビデオコンテストで審査員特別賞

久喜への思い映画に込めて



賞状を手に笑顔を広げる久喜小6年生ら

全国各地の小・中学校88校が参加した、パナソニックキッズスクール・KWN(キッド・ウィットネス・ニユース)日本の2011年度ビデオコンテスト。2月17日、その審査結果が発表され、久喜小学校(澤田晶子校長・児童58人)

が制作した映画「生きる」久喜の海とともに」が審査員特別賞を受賞しました。「生きる」は、同校の復興教育のまとめとして、6年生が制作した約4分30秒の映画。6年生は撮影や編集作業に悪戦苦闘しながらも、地域の人たちへの感謝の気持ちや、大好きな久喜の海に対する熱い思いを映画に込めました。坂本竜輝くん(6年)は「みんなで頑張ったので受賞できてうれしいです。ぼくの夢は漁師。将来も魚がたくさん捕れる久喜の海でいてほしいです」と願っていました。これからも久喜で生きる。久喜っ子の強く真つずな思いは、地域の人たちはもちろん、審査員など全国の人の胸にも響いたことでしょう。

国民年金保険料と学生特例

市民課 ☎ 52 - 2118

前納・振替がお得

4月からの国民年金保険料は月額1万4980円です。納付方法によって、保険料は割り引きになる場合があります。現金で1年前分納すると年額3190円、半年分前納で年額1460円(730円×2回)が割り引きになります。口座振替の早割を申し出ると、毎月納付でも月額50円が割り引きになります。保険料の納付は、お得な前納や口座振替をお勧めします。納付方法を変更する場合は、市民課(市役所1階)に申し込みください。

学生特例は毎年申請

国民年金には、在学中の保険料納付が猶予される「学生

納付特例制度」があります。

特例の適用を受けるには毎年申請が必要です。平成23年度分の申請は4月27日(金)までです。平成24年度分の申請は4月から受け付けます。

平成23年度分の申請が済んでいない人や、平成24年度分の適用を受けようとする人は、次のものを持参の上、市民課(市役所1階)で申請してください。

▼申請に必要なもの：①学生証の写し、または在学証明書②印鑑

ハガキ返送もOK

また日本年金機構からハガキ(学生納付特例申請書)が届いた人は、必要事項を記入して返送することで、学生納付特例の申請ができます。

FIREBRIGADE

津波で流出した市消防団第9分団2部(久喜)屯所が移転新築

拠点復活 地域のため一層の活動誓う



屯所の概要

色合いと屋根の形状は、隣接する久喜保育園に配慮し、全体的にやわらかい印象。出動時など団員がスムーズに行動できるよう、車庫などは広めのスペースが確保されている。

■住所 宇部町 20-146-1
■構造 木造2階建て
■工期 平成23年11月10日～平成24年2月24日
■事業費 1,279万円



思いを込め、山内隆文市長など5人がテープカット

東日本大震災の津波で流出した、市消防団第9分団2部(久喜)の屯所が移転新築され、2月24日に完成しました。3月20日、地元消防団や婦人消防協力隊など約60人が集まり、屯所前で開所式を開催。山内隆文市長など5人がテープカットを行い、地域の安全・安心を守る活動拠点の復活を祝いました。

開所式後は市内催事場に移動し、落成記念祝賀会も開催。山内市長など3人が祝辞を述べ、団員の懸命な活動をねぎらいながら、今後のさらなる活躍を期待しました。迅速な水門閉鎖と避難指示で、12回の防潮堤をも越える津波から、地域全員の命を守った第9分団2部。川戸道達三分団長は「すぐに再建に乗り出してくれた市に感謝。屯所が戻り、地域の人も安心して」と思います。新たな拠点を活用し、団員一同、市民と地域のために一層頑張っていきます」と誓っていました。



祝賀会で謝辞を述べる川戸道達三分団長

FIRESTATION

消防本部に高機能消防指令センターが完成

最新システム 消防防災力の向上確信



指令センターの概要

発信場所や現場への最短ルートが自動表示され、地図は消防署・分署などの出動車両に転送できる。またFAXとメールでの緊急通報受信も可能になったほか、消防団への出動指令も迅速化。出動時間の短縮と初動対応の強化が期待される。

■工期 平成23年5月31日～平成24年3月21日
■事業費 3億6,645万円



広域住民の安全・安心を祈りテープカット

3月5日24時間、久慈広域4市町村からの緊急通報を受け付け、出動指令を出す久慈広域連合消防本部の通信指令室。この消防救急活動の中枢が3月21日、最新鋭の機能を備えた高機能消防指令センターに生まれ変わりました。同日、防災センターで竣工式を開催。広域4市町村長など、約50人が出席しました。

同連合の連合長である山内隆文市長は「久慈広域6万5千人の安全・安心のため、最新のシステムのもと一層の消防体制の強化に取り組みます」と式辞。式終了後は、4市町村長など7人が期待を込めてテープカットを行いました。その後、通報を受信すると瞬時に発信場所や現場への最短ルートが分かるなど、システムの優れた特徴を職員が説明。火災発生を想定した緊急出動訓練も行われました。迅速かつ的確な出動に、出席者はシステムの効果と消防防災力の向上を確信していました。



訓練でシステムを操作する消防職員



広報リポーターの突撃取材！



絆タワーを笑顔で囲む、たぐきり会メンバー

3月12日、大川目町仲小路地区のたぐきり会メンバーが、大川目の世帯数と同じ900個の松ぼっくりで、塔を完成させました。大震災当日、真っ暗な公民館に身を寄せた仲間で1カ月かけて制作。塔は「絆タワー」と命名し、手打ちそばで完成を祝いました。(小倉利之リポーター)



岩場付近と海上から搜索する海上保安官ら

東日本大震災から1年になろうとする3月9日、八戸海上保安部と久慈警察署の職員計20人が合同で、侍浜町白前と夏井町半崎で行方不明者の一斉搜索を実施。職員は「どんな小さな物でも手がかりを見つけたい」と寒風の中、懸命に搜索していました。(梅沢政隆リポーター)

避難した仲間
で絆タワー

海保と警察
が一斉搜索

雪辱果たし 全国大会へ

三船記念館スポ少が県制覇

2月19日、盛岡市で開かれた第34回岩手県スポーツ少年団柔道大会の団体試合で、三船十段記念館柔道スポーツ少年団が2年ぶり18回目の優勝。5月5日に東京都で開かれる全国大会への出場を決めました。

試合は1チーム5人の総当たり戦。同スポ少は準決勝までの4試合を全て5-0で圧勝。昨年度敗れた大迫柔道スポーツ少年団との決勝は接戦となりましたが、2-2の内容で勝利し、雪辱を果たしました。

大宮秀太くん(小久慈小4年)は「初めての全国大会。思い切り攻めていきたいです!」と意欲。主将の佐藤大知くん(長内小5年)は「勝利のため、チームの力になりたいです!」と意気込んでいました。



(左から)伊藤義隆くん、松本温人くん、大宮秀太くん、佐藤大知くん、落合小春さん、遠山恵生さん、吉田有杜くん



卒業証書を受け取り、喜びをかみしめる週立有希さん

- 1/歌声を響かせる卒業生
- 2/式辞で、卒業生への期待を込める後校長
- 3/感慨深げな表情で子どもを見つめる保護者
- 4/卒業記念品は、絆の文字が入ったはんてん



2



1



4



3

801人 学び舎巣立つ

各小・中学校で卒業式

3月、各小・中学校で卒業式が開かれ、小学6年生398人、中学3年生403人、計801人が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

長内中学校(後忠美校長・生徒293人)では3月14日に卒業証書授与式を実施。卒業生92人に卒業証書を手渡した後、後校長は「東日本大震災から1年。皆さんには久慈市はもちろん、日本の未来を創造するという大きな期待がかかっています。5年後、10年後を見据えて頑張ってください」と期待を込めました。

祝辞や祝い品の贈呈などに続き、在校生代表の下平龍生くん(2年)は「これからも私たちの先輩として輝き続けてください」と送辞。後輩から合唱でエールも受け、卒業生代表の石崎優貴くん(3年)は「92人の仲間との絆を胸に秘め、未来の希望に向かって歩んでいきます」と決意を述べました。

最後は出席者全員で校歌。卒業生は、ひときわ大きな歌声を響かせ、力強い足取りで学び舎を後にしました。

救命効果の大きさ熱弁 ドクターヘリ講演会

岩手県が5月から運航を開始するドクターヘリ。3月16日、防災センターでドクターヘリ講演会が開かれ、八戸市立市民病院の今明秀副院長が、すでに運航を開始している青森県での活用事例や救命効果の大きさを熱弁しました。約120人の聴講者は興味深々。救急医療の充実に期待していました。



ドクターヘリの特徴や効果を熱弁する今副院長



雪かき作業に汗を流す東高の生徒

運転再開前に環境整備 東高が駅周辺の雪かき

3月13日、久慈東高校生徒会15人が久慈駅周辺の雪かきや清掃を実施。JR八戸線の運転再開を前にし、環境整備に取り組みました。駅の利用マナー向上などを呼び掛けるポスターも美術部と合同制作。生徒会長の米澤真弓さん(2年)は「少しでも貢献できればうれしいです」と笑顔を広げていました。

まちのため防火を約束 長内保幼年消防に認定証

3月7日、久慈地区幼少年婦人防火委員会(会長・松野下富則久慈広域連合消防長)は長内保育園幼年消防クラブに認定証を交付。畑中美登里園長は「大事なまちのため、防火の約束事を守りましょう!」と園児に呼び掛けました。

同日2団体の認定で市内の幼年消防クラブは13団体になりました。



「火遊びはしません!」と声をそろえる園児



大きな声で防火を誓う園児

絶対に火遊びしません! 畑田保幼年消防に認定証

久慈地区幼少年婦人防火委員会(会長・松野下富則久慈広域連合消防長)は3月7日、畑田保育園幼年消防クラブに認定証を交付しました。佐々木マサ子園長は「子どもたちの意識高揚と地域の安全のため精進します」と決意。園児は「絶対に火遊びしません!」と声をそろえ、防火を誓っていました。

地域総出で節目を祝う 夏井町振興協 30周年

夏井町振興協議会(播磨孝則会長)が設立30周年を迎え、2月26日に夏井農村環境改善センターで記念式典を開催しました。播磨会長は「今後も町民の融和と発展に努めます」と決意。山内隆文市長なども祝福と激励の言葉を送りました。式典終了後は祝賀会も開催。地域総出で節目を祝いました。



約120人が出席し、盛大に開かれた記念式典



熱唱しエールを送る布施明さん

復興の願い込めて熱唱 布施明ミニコンサート

歌手やタレントが被災地に元気を送るNHK・BSプレミアムの番組「きらり!えん旅」の収録が3月7日から9日まで市内で行われました。最終日は布施明さんが勤労青少年ホームでミニコンサートを開催。復興への願いを込め、自身のヒット曲などを熱唱し、約150人に元気と感動を与えました。

きらり!えん旅 4/12(木)放送
NHK・BSプレミアムで19時30分~

長根^{なみ}麻美
さんと
長女の
凜^り柚^うちゃん
(宇部町)

を無くすことはできなくて

輝く

一番のライバルは大親友
県大会1位を目指して突き進む—

てみたい」とひなたさん。出会うきっかけにもなったスキーは、2人にとつて将来の夢でもあります。

そんな2人も4月からは最上級生。今度こそはと次の冬を見据えています。

「スキーをとつたら何もない。そのくらいの気持ちでいます。目標はやっぱり県1位。同学年や下級生には絶対に負けません！」

強い決意を込める同級生スキーヤー。刺激し合い、支え合い、目標に向かって突き進むことでしょう。

をかぶるのが伝統です。生徒は卒業した瞬間、帽子のタッセルを右から左に移動させます。式終了後は、帽子を飛ばして喜びを表す習慣もあるんですよ。

でも、おかげで式場は帽子だらけ。名前を書かないと、どれが自分の帽子が分からなくなっちゃうんですよ…。

利用案内

祝日 17 時
までになり
ました

■開館時間…10時～18時
■4月の休館日…2(月)、9(月)、16(月)、23(月)、
29(日・祝)、30(月・振替休日)
●巡回展・文芸賞受賞図書展…文学賞を受賞した作品
の巡回展示を行います(館内でのみ閲覧できます)
4/27(金)～5/6(日)

平成24
年度も

市立図書館は
祝日も開館！

INFORMATION
暮らしの暮情報

このページでは、くらしに役立つ情報をお知らせします。

★本庁舎
★山形総合支所
★宇部支所
★侍浜支所
★山根支所

☎52-2111
☎72-2111
☎56-2111
☎58-2111
☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からもつながります

募集

被災住宅の工事費補助

大震災で被災した住宅・宅地の復興を、利子補給や補助金で支援します。詳しくはお問い合わせください。

	支 援 内 容
1	債務ローンの利子補給
2	補修や耐震改修などの工事費を補助
3	のり面を保護するための工事費を補助

▶対象…平成23年3月11日以降に実施した工事など

☎建築住宅課 52-2120

市営住宅空きあります

住 宅 名	戸数	家 賃 (月額)
川井団地	1戸	2,900円～4,300円
宇部日向地区住宅	1戸	1,700円～2,600円
萩ヶ丘地区住宅※	1戸	3,600円～5,400円

※萩ヶ丘地区住宅には説明事項があります。詳しくは問い合わせください

▶申し込み…4月13日(金)まで

☎建築住宅課 52-2120

☎山形総合支所産業建設課 72-2129

観光の大チャンス
いわてDC
スタート!!

イートーグ
いわて物語

青少年ホームの前期講座

5月から勤労青少年ホームで次の講座を開催します。

講 座 名	曜日	回数	定員
アメリカンフラワー	月	10回	20人
ラテンエアロ	月	10回	30人
浴衣着付け ※7月～	月	3回	20人
華道	火	10回	20人
ペン習字	水	10回	20人
バドミントン	木	10回	20人
絵画	木	10回	20人
料理	金	10回	20人

▶時間…18時30分～20時30分
※ラテンエアロは19時30分まで

▶受講資格…市内在住または市内に勤務する35歳未満の勤労者

▶申込期間…4月2日(月)～24日(火)
※定員になりしだい締め切ります

☎勤労青少年ホーム 53-2320

学校体育施設を無料開放

利用希望者は4月16日(月)までに各学校へお申し込みください。

【開放校】小学校 10校
久慈、久慈湊、長内、小久慈、夏井、平山、侍浜小角柄分校、小国、霜畑、来内

【開放校】中学校 8校
久慈(※)、長内(※)、大川目(※)、侍浜、宇部、三崎、山根、山形(※)
※印…屋外運動場照明施設の設置校

▶開放期間…平成25年3月25日(月)まで ※年末年始を除く

▶開放時間…①屋外運動場／5時～7時・16時30分～19時(土日祝日は5時～17時) ②体育館／17時～21時(土日祝日は9時～21時)

☎社会体育課 52-2156

4月～6月は観光キャンペーン「いわてDC」開催期間です。岩手や久慈の良さを知ってもらうため、観光客をもてなしましょう！

先着順で国有地を売却

財務省東北財務局盛岡財務事務所は、先着順で国有地を売却します。

申し込みは郵送不可。普通財産売払申請書と住民票抄本(法人は、商業登記簿謄本と役員一覧)を持参し、同事務所に直接申し込みください。

区分	物 件 の 内 容
市内	●柏崎5-118-3 ●293.32㎡(88坪) ●最低売却価格65万円
市外	盛岡市4件、一関市1件、釜石市1件、岩泉町3件

▶受付期間…4月9日(月)～6月8日(金)

☎盛岡財務事務所管財課 019-625-3354

無料でスキルアップ

コ ー ス	期 間	定員
ワードビジネス活用Ⅰ	5/8(火)・9(水)	15
ワードビジネス活用Ⅱ	5/16(水)・17(木)	15

▶会場…久慈職業能力開発センター

▶申し込み…2週間前まで

☎久慈職業能力開発センター 53-6261

お知らせ

市交通安全計画を策定

市では、平成27年度までの交通安全に関する施策の大綱を定めた「第9次久慈市交通安全計画」を策定しました。(計画の内容は、市ホームページに掲載)

「交通事故を起こさない、交通事故にあわない」という意識を持って、交通ルールやマナーを守りましょう。

☎生活環境課 54-8003

久慈市版
復興の狼煙ポスター

引換中

昨年12月18日に二子朝市の会場で撮影した、復興の狼煙ポスターが完成しました。

撮影参加者へのポスターの引き換えは、市役所2階まちづくり振興課で行っています。撮影時に配られた引換券を持参の上、お越しください。

☎まちづくり振興課 52-2116

浄化槽設置に補助金

市では、生活環境の向上を図るため、浄化槽の設置費用を補助しています。補助できる数には限りがあります。お早めに申請してください。

浄化槽の大きさ	補助金額
5人槽 130㎡(約40坪)以下	41万円
7人槽 130㎡(約40坪)超	51万4,000円
10人槽 台所と浴室が2カ所以上 ※2世帯・大家族住宅用	68万6,000円

▶補助対象区域…公共下水道事業整備区域と、漁業集落排水事業実施区域を除いた区域

☎下水道課 52-2152

ヨイ歯デー無料電話相談

歯や口の中の健康に関する無料電話相談です。歯科医師が、19時以降に相談者に電話をして回答します。

▶日時…4月18日(水)10時～19時

☎岩手県保険医協会歯科部会 019-651-7341

編集後記

▶4月1日付で財政課に異動になりました▶広報担当4年。取材を通じて、たくさんの方の笑顔や一生懸命な姿にふれさせていただきました▶失敗も多々あり、力不足ではありましたが、人の思いを大切にすることを心掛けてきたつもりです▶震災後その気持ちはより強くなりました。支え合い、奮起

する皆さんの姿から久慈市民のものすごい力を感じ、何度も心を打たれました▶4年間での出会いと経験は、自分の宝物です。広報を担当できて本当に幸せでした。皆さん本当にありがとうございました▶担当は離れますが、これからも心掛けは変わりません。新しい広報担当者ともども、これからもどうぞよろしくお願いします!(八重桜)

おめでた・おくやみ

♥おめでとう
()内は旧姓

◇誕生おめでとう
()内は保護者名

◆おくやみ申し上げます ()内は年齢

2012. 4. 1号 | 22

荷軽部小

最後に学んだ 児童の思い



ぼくも上手に
 泥崎慎也 くん
 (荷軽部小1年)

荷軽部太鼓を教えてくれた6年生や地域のお兄さんたちありがとう！もうぼくも上手にたたけるよ。



優しいし大好き
 泥崎智也 くん
 (荷軽部小1年)

休み時間に校庭で、みんなと一緒にサッカーをして遊ぶのが楽しかったな。みんな優しいし大好き！



太鼓で仲良く
 谷地叶介 くん
 (荷軽部小1年)

荷軽部太鼓を優しく教えてくれた6年生。一緒に太鼓をたたいて仲良くなった！みんな大好きだよ！



遊んで仲良く
 上平優衣 ちゃん
 (戸呂町小1年)

体育をしたり、鬼ごっことかで遊んで、みんなと仲良くなった体育館が好き！毎日楽しみだったな！



みんな優しい
 櫻庭彩姫 ちゃん
 (戸呂町小1年)

一輪車や縄跳び、鬼ごっこかしてたくさん遊んだよ！同級生も上級生もみんな優しくて大好き！



体育館が好き
 下館さくら ちゃん
 (戸呂町小1年)

学校で一番好きな場所は、体育館。一輪車とか縄跳びをして、みんなと仲良くいっぱい遊んだよ！



サッカー頑張る
 谷地穠太郎 くん
 (荷軽部小1年)

4月からは山形小のみんなとも仲良くしたい！みんなと一緒に体育とかサッカーを頑張りたいな！



太鼓が完璧に
 谷地瑠輝也 くん
 (荷軽部小1年)

たくさん練習した荷軽部太鼓が一番の思い出。6年生から教えられて完璧にできるようになったよ！



太鼓が自慢
 大谷地宏弥 くん
 (荷軽部小2年)

6年生から教えられて、全部でできるようになった荷軽部太鼓。ぼくのうれしい自慢の一つだよ！



校庭で冬遊び
 火石舞鈴 ちゃん
 (荷軽部小3年)

冬に校庭で尻すべりして遊んだのが楽しかったな。みんなと一緒に楽しい！これからも仲良しです！



楽しく遊んだよ
 下館拓朗 くん
 (戸呂町小1年)

みんなで遊んだ場所だから、ぼくも体育館が好き！特にサッカーとバドミントンが楽しかったな！



頑張った音楽
 田端怜夢 ちゃん
 (戸呂町小1年)

音楽室が楽しくて好き！歌うのも演奏するのも大好きだから、音楽の授業はたくさん頑張ったよ！



いっぱい読書
 長坂和真 くん
 (戸呂町小1年)

ぼくが大好きな場所は図書室！いっぱい読書をして勉強したよ。これからもたくさん本読むんだ！



上手に一輪車
 下館亜由実 ちゃん
 (戸呂町小2年)

一輪車が得意だよ。すぐに上手にできたんだ。みんなと一輪車で遊ぶのはすごい楽しかったな！

ぼくたちを成長させてくれた荷軽部小 自信も、団結力もついたと思います—

みんな元気で仲が良い荷軽部小学校。炭焼き体験や荷軽部太鼓などは、荷軽部小のぼくたちだけができる経験です。地域の人たちはぼくたちを楽しませてくれたり、応援してくれました。おかげで、いろいろな勉強をすることができ、修学旅行や運動会など良い思い出もたくさんあります。

荷軽部小最後の一年。さみしいけれど、最後までしっかりやろうと思ひ、みんなで力を合わせて頑張ってきました。一年生に教えるのも良い勉強になりました。この一年で自信も、みんなの団結力もついたと思います。

ぼくたちを成長させてくれた荷軽部小。中学校生活は少し不安もあるけど、部活動も勉強も一生懸命頑張っていきたいです。

荷軽部小児童会長
田代 光 くん (6年)

いつも、力を合わせてやってきました 戸呂町小で勉強できたのは自慢です—

戸呂町小学校では、いつもみんなの力を合わせて行事をやってきました。地域の皆さんも協力してくれて、田植えや稲刈りなども教えてくれたし、私たちが頑張ったりに上手にできたときは、たくさんほめてくれました。

今年で学校がなくなってしまうからこそ、みんなで協力して楽しい一年にするために頑張ってきました。最後の年にやっと晴れてくれた運動会は、うれしくて楽しい一番の思い出です。

閉校はさみしいです。でも、閉校になっても学校のことは忘れません。戸呂町小で勉強をして、みんなで成長できたことは自慢だし、私の自信にもなっています。不安もあるけど、4月から中学校で頑張れそうです。

戸呂町小児童会長
長坂莉緒 さん (6年)



もっと知りたい
 谷地歩夢 くん
 (荷軽部小3年)

荷軽部の歴史を劇で発表。地域の人は泣いて喜んでくれました。もっと荷軽部を知りたいです！



スキーで1位
 谷地梨璃唯 ちゃん
 (荷軽部小3年)

一番の思い出は、平庭のスキー大会で1位になったこと。山形小でもスキーや水泳を頑張るぞ！



綱引きが自信に
 大谷地亮 くん
 (荷軽部小4年)

青年会の人たちに教えられた綱引き。力を一つにすることを学び、大会でも優勝。ぼくの自信です！



一緒に運動会
 谷地愛生 ちゃん
 (荷軽部小4年)

一生懸命応援してくれる地域の人たちと一緒に運動会は楽しかったな。これからも頑張れそうです！



会うのが楽しみ
 二又未来 ちゃん
 (戸呂町小2年)

授業中は別々でも、体育館ではみんなと一緒に。みんなに会って遊べるのが毎日楽しみだったな！



いつもにぎやか
 下館沙智恵 ちゃん
 (戸呂町小3年)

戸呂町小は、いつもにぎやかで仲よし！ポスターとか書写を頑張って、たくさん賞ももらったよ！



地域や家族と
 田端瑠奈 ちゃん
 (戸呂町小4年)

地域の人や家族と一緒にの行事が多いのが戸呂町小の良いところ！勉強になったし、楽しかったです！



晴れた運動会
 上平翔吾 くん
 (戸呂町小5年)

最後の年に晴れた運動会が一番の思い出。紅組は負けたけど、みんなと協力して楽しかったです！



太鼓で成長
 大谷地俊哉 くん
 (荷軽部小5年)

1年生のころは難しかった荷軽部太鼓も、今は教えられるように成長。ぼくの自信になっています！



山形小の代表に
 横葉映貴 くん
 (荷軽部小5年)

これからもみんなと仲良く助けて。山形小の代表になれるように、勉強も運動も頑張るぞ！



自信持って毎日
 大谷地彩夏 さん
 (荷軽部小6年)

部活も始まって勉強も難しくなる中学校。荷軽部小で勉強したことに自信を持ち、毎日頑張ります！



ここだけの経験
 谷地勇飛 くん
 (荷軽部小6年)

炭焼きや太鼓など、他の学校では勉強できないことも経験。自信を持って中学校でも頑張ります！



一瞬で大好きに
 櫻庭流斗 くん
 (戸呂町小5年)

3年生で転校してきたけど一瞬で溶け込めた。閉校はくやしい。みんな優しくて大好きな学校です！



地域と運動会
 下館茜 さん
 (戸呂町小5年)

地域の人と一緒にの運動会は本当に楽しかった！天気も味方してくれて、外でできて良かったです！



最後に晴れた
 下館竜二 くん
 (戸呂町小6年)

最後の年にやっと晴れてくれた運動会。みんなで頑張ってた白組が勝てたのがうれしかったです！

大切な思い出や
感謝の気持ち
この学校が
大好きです

4月から山根中学校と併設に

山根小学校 校舎に別れ

古くとも、大震災から児童
を守った校舎。愛され続け
その役目を終える――



4月から山根中学校と併設になる山根小学校（照井睦子校長・児童9人）の校舎お別れ会は2月29日、同校で開催。約40人が出席しました。

照井校長は「地域の尽力でできた自慢の校舎。4月からも校風を引き継ぎ、仲良くのびのびとした学校生活の実現を約束します」とあいさつ。卒業生でもある葦山健^{あしやま けん}有^{あり}PTA会長は「古くなりましたが大震災からもみんなを守った校舎です。ここで学び、運動したことを忘れないでください」と思いを込めました。

遠川雄翔^{とくがわ ゆうしょう}くん（6年）が校舎によせた作文を発表した後、学校の歩みを振り返るスライドも上映。児童は山根太鼓を披露し、「感謝の気持ちを胸に、誇りをもって歩んでいきます」と大好きな校舎に別れをづけ、前を向きました。最後は、メッセージを結びつけた風船を手に、全員で校庭に移動。「ありがとう！山根小学校」と声をそろえ、思いを込めた希望の風船を空へと高く飛ばしました。

山根小学校

創立 明治9年6月
※創立時の校名は戸鎖小学校

主な歩み

昭和28年、戸鎖小学校から山根小学校に改称。昭和46年に山根、木売内、端神、細野、小田瀬の5校が統合し、翌47年に現校舎が完成した。統合時の児童数は206人。昭和56年には深田小も統合となった。

児童数は減少しているものの、地域、家庭と一体となった教育活動を展開。4月からは山根小中学校として新たなスタートを切る。



1



2



3

1／感謝し、校風を引き継ぐことを約束した照井校長
2／思い出を振り返りながら、あいさつした葦山会長
3／「誰よりもこの校舎のことを知っています」と遠川くん。作文からは学校への愛着が感じられました



4



5

感じた一体感と成長

平成23年3月をもって長い歴史を閉じ、山形小学校と統合した日野沢小学校と繫小学校。あれから一年、転入した子どもたちはどんな表情で卒業式を迎えるのだろうか。気になった私は、3月17日、統合後最初の卒業式が開かれる山形小に向かいました。

日野沢小出身の野場陸^{のの}くん、二ツ神瑠夏^{ふたがみ るか}さんを含め、卒業生は6人。入場前、屈託ない笑顔で私を迎えてくれた6人は、式が始まると表情を引き締め、しっかりと胸を張り、小笠原牧子校長から卒業証書を受け取りました。

保護者や教職員が温かい目で見守る中、別れのことはでは、卒業生が自分の可能性を信じて挑戦し続けることを、在校生は山形小を前進させることを力強く宣言。卒業式からは、子どもたちの一体感と

成長、そして保護者や教職員の支えが感じられました。
確信させるほどの姿

今回、惜しまれながら閉校を迎えた戸呂町小学校と荷軽部小学校。地域の人が閉校という苦渋の決断をした理由は、新たな環境に踏み出し、新たな仲間を得ることで、子どもたちがさらに大きく成長すると信じたから。2校の閉校式典は、そんな子どもたちへの深い愛情であふれていました。そして、しっかりと前を向き、学校に別れと感謝のことはを送った子どもたち。閉校のさみしさの中、その姿は、これからの成長と輝く未来を確信させるほど立派なものでした。4月、新たな仲間を加えてスタートする山形小。日野沢と繫の子どもたちと同じように、戸呂町と荷軽部の子どもたちも、きつと、大きく成長してくれることでしょう。

学校統合の先 山形小卒業式と、2校の閉校式典から感じたこと

きつと、大きく――

新しい仲間と、希望を胸に前を向いて――

山形小卒業式。新しい仲間とともに、希望を胸に前を向日野沢小出身の二ツ神瑠夏さん（左）と野場陸くん（左から2人目）。別れのことはでは大きな声を響かせ、自分の可能性を信じて挑戦することを誓いました



久慈港に 3,800 個のキャンドル

鎮魂と復興 祈り込めて

東日本大震災から1年となった3月11日、「鎮魂と復興」希望の灯りをつくる会（同実行委主催）が久慈港岸壁で開かれました。子どもから高齢者まで約600人が参加。沿岸部の小・中学生や有志が心を込めて作った3,800個のキャンドルを「KUJI」「3・11」の形や、魔よけを意味するというアイヌの模様の形に並べ、火をともしました。

優しく温かい光が港に広がる中、参加者は海に向かって黙とうをささげ、全員で「ふるさと」を合唱。犠牲になった方々の追悼と、まちの復興への祈りを込めました。



1／円がつながっていくような形に並べられたキャンドル。参加者は祈りを込めて火をともしました

2／優しく温かい光を、じっと見つめる子どもたち

3／子どもも大人も祈りを込めて。光を前に、みんなの思いが繋がります

4／「祈」「絆」などの文字が記された手作りキャンドル。一つ一つに心が込められています



連なる光、
つながる思い――